

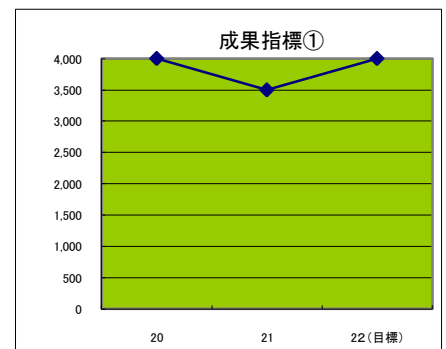
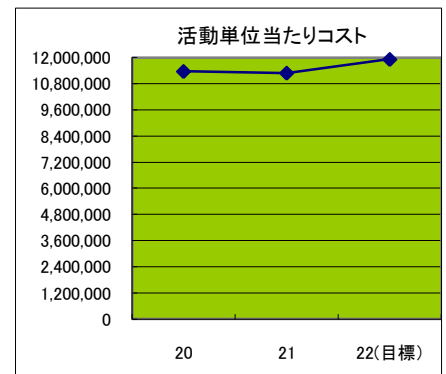
平成 22 年度 事務事業評価シート(平成 21 年度実施事業)

整理番号

保健01

事務事業名		健康まつり事業		予算科目	会計	1	一般会計
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	2	予防費
					事業	8	健康まつり
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち				
	施策(節)	1	保健・医療				
	施策の方向	(1)	健康づくり体制の充実				
関連する計画等		健康はびきの21計画					
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先			
	市民等			072 - 956 - 1000 内線 5150			
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	健康まつりを通じて、市民に健全な生活習慣や健康情報の普及啓発を進める。						
	毎月10月第3日曜日に、はびきのコロセアムを会場にして開催している。医師会などの医療関係機関や市民団体で実行委員会をつくり、参加して楽しんでもらえる内容を盛り込みながら、食生活、運動、禁煙、生活習慣病予防、介護予防、歯の健康、こころの健康など、健康に関するいろいろな分野の啓発や各種検診・検査などを実施。健康はびきの21に掲げた健康づくり目標の啓発もすすめている。						
根拠法令等							
事業開始時期		☒ 昭和 57 年開始 ☐ 明確にはわからない ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている				終了年度	平成 年度
事業開始時からの状況変化		平成18年度から会場をはびきのコロセアムに移し、開催している。					
市民や議会の要望							
実施手法		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他				委託内容	

区 分		20年度	21年度	22年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		2,991	2,843	2,850
人件費【2】 (千円)		8,370	8,442	9,069
職員数	正規職員	1.00 人	1.07 人	1.15 人
	再任用職員	0.10 人	0.03 人	0.00 人
	嘱託職員	0.20 人	0.11 人	0.11 人
	臨時職員	0.10 人	0.05 人	0.10 人
	超過勤務(参考) (時間)	478.45 時間	533.30 時間	500.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		11,361	11,285	11,919
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	11,361	11,285	11,919
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 開催日数	日	1	1	1
② 当日の企画数 (コーナー数)	箇所	32	33	33
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		11,361,000 円	11,285,000 円	11,919,000 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		95 円	95 円	100 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	①	(式)	人	まつりを通じて、市民に健康な生活への意識	目標	4,000	4,000	達成率(%)	87.5%	4,000
					実績	4,000	3,500			
	②	(式)			目標			達成率(%)		
					実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	健康な生活を啓発するためには市の積極的なかかわりが必要

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	幅広い団体と実行委員会をつくり健康づくりの啓発を進める現状の取り組み方法については、市民協働という方向性、健康づくりのネットワークをつくるという方向性を持っている。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒	
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	緊急性が認められる	☐	☒	☐	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	実行委員参加団体による創意ある取り組みが行われている。会場がコロセウムになったことで前日の準備作業や荷物運搬がかなりの重労働となっており簡略できるような検討する必要がある。
	受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	簡略化できる方法や手段がない	☐	☒	☐	
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☒	☐	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	健康はびきの21計画を推進していくうえで重要である。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
	成果を向上させる余地がない	☐	☒	☐	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	健康まつり実行委員会等で市民意見の反映に努めている。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	平成21年度は新型インフルエンザの影響で参加者数が目標数値を超えなかった。
	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	
	成果指標は前年度より向上している	☐	☒	☐	

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☒ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	健康まつりは、医療・保健等の関係機関、団体で実行委員会を作り健康づくりの一大啓発事業として定着し、年々参加者数・協力団体数も増加傾向にある。健康はびきの21を推進していくうえでも重要な場となっている。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 今後も実行委員会と協力して市民に健康な生活習慣や健康知識の普及啓発を進めるとともに、去年から始まった健康フォーラム事業と重複した内容にならないように考えていきたい。また、健康まつり事業の規模が大きくなってくると、実施方法・準備方法について検討する必要がある。	
行 事 本 部 評 価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	